



# つながる医療

# 肺がんについて④

わが国における死因の第一位は「がん」です。その中でも死者数の最も多いがんは「肺がん」で、一年間に7万6千人もの方の命を奪っています。そんな怖い病気ですが、多くの人に肺がんについて知って頂くことで、治る患者さんを増やすことができると思っています。そこで、今回は肺がんの抗がん剤治療についてお話しさせていただきます。

## 第四回 肺がんに対する抗がん剤治療

肺がんに対する抗がん剤治療は、ここ数年で大きな進歩を遂げています。これは、いかにがん細胞だけに効く薬を作り、いかに副作用を少なくするかの戦いの歴史でした。開発された順に説明します。

① **殺細胞性抗がん剤**▼文字通りがん細胞を殺すための薬です。しかし、正常な細胞も殺してしまうので、様々な副作用が出てしまいます。

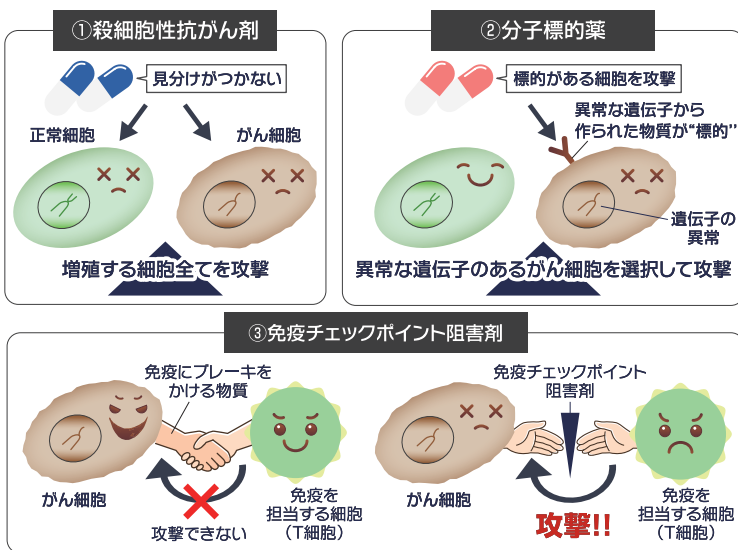
② **分子標的薬**▼がん細胞の遺伝子から作られる物質を目印「標的」に、そこに結合して効果を発揮するように作られた抗がん剤です。かなり選択的にがん細胞を攻撃することができず、一部の正常な細胞も同じ物質を作っているため、副作用がないわけではありません。また、特定の遺伝子に異常がないがん細胞には効果がありません。

③ **免疫チェックポイント阻害剤**▼自分以外のものが体に入り込むと、それを「異物」として認識し攻撃して排除する仕組み

みを「免疫」といいます。本来は、がん細胞も攻撃されるはずですが、一部のがん細胞は免疫にブレーキをかける物質を作って攻撃をのがれています。この物質の効果を抑える薬が免疫チェックポイント阻害剤です。これにより免疫を担当する細胞が、がん細胞を攻撃することができるようになります。前述の2つの抗がん剤のように、薬でがん細胞を殺すわけではなく、人間が本来持っている免疫の力で攻撃するので副作用は出にくいのです。しかし、免疫のブレーキを外すことになるので、今までの抗がん剤とは異なった副作用が出る場合があります。

現在ではこれら3つのタイプの薬を組み合わせて治療を行っています。これにより進行した肺がんに対する抗がん剤治療は大きく進歩しました。

次回は肺がんの予防「禁煙」に関して少し変わった視点からお話させていただきます。



監修

総合大雄会病院 副院長

ぬま なみ ひろ き

沼波 宏樹 医師

〈主な資格〉

- ・日本外科学会 外科専門医
- ・日本呼吸器外科学会 呼吸器外科専門医

社会医療法人大雄会は、車いすプロテニスプレイヤー

小田 凱人選手を応援しています!



未経験のかたも 歓迎

看護補助者ほか 各職種の非常勤スタッフ 募集中!!

詳細は「大雄会 採用」で検索ください

☎ 0586-24-8891 (受付時間) 平日8:30~17:30